

いこい通信

第17号

2023年7月

発行 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

「いこい通信」は、宮城県内で避難者支援にあたられている方々に、福島県からの県外避難者（広域避難者）の置かれている状況や、宮城県内・他地域における支援活動の様子等をお伝えする情報紙として発行しています。自らの意思に反して全国への分散避難を余儀なくされた方々が、避難先で適切な支援につながっていくための一助となることを目的としています。

■ ふくしま仙台サロン 2022年度開催レポート（2）

福島県から宮城県内に避難されている皆さんの定期交流会「ふくしま仙台サロン」。2022年度中には、これまで開催してきた室内の交流会や借上バスによる移動交流会のほか、少人数で街歩きをしたり、他の避難者交流会にお邪魔したりと、無理なく継続できる内容も取り入れ工夫しながら開催しました。

○11月1日

「秋の仙台市中心部を街歩き」（参加者5名）
街中に息づく歴史に触れる交流会として、仙台市の観光バス「るーぶる仙台」を活用し、自家用車ではアクセスしにくいスポットを巡りました。



○12月27日

「正月花を生けて新年を迎えましょう！」
（参加者15名）
「つなげよう花の心」実行委員会の皆さんにご支援いただき正月飾りの生け花をしました。



○2月6日

「交流サロンさくら」の皆さんと一緒に交流を深めよう（参加者9名）
柴田町社会福祉協議会にて開催されている避難者交流会にお邪魔して、一緒に交流しました。



○3月1日

「今年度の振り返り&来年度の作戦会議！」
（参加者8名）
2022年度のサロンの振り返りと、これからやってみたいこと、行ってみたい所を出し合いました。



これらの交流会は2022年度福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金の支援を受けて開催しました。

■ ふくしま仙台サロン 2023 年度も継続開催しています

福島県から宮城県内に避難されている皆さんの定期交流会「ふくしま仙台サロン」は、公益財団法人 JKA による競輪の補助を受け、2023 年度も継続開催しています。

○4月7日 第1回ふくしま仙台サロン・作戦会議

「大河原・一目千本桜でお花見会」(参加者 15 名)

大河原町・一目千本桜を会場に、今年度のサロン企画を考える「作戦会議」をしました。10時にJR東北本線大河原駅に現地集合。お花見弁当をいただきながら意見交換しました。例年よりずいぶん桜の開花が早く、桜吹雪の中でしたが、今年の活動について考える楽しい時間になりました。



○5月17日 第2回ふくしま仙台サロン

「南三陸・田東山でツツジ鑑賞～本吉へ」

(参加者 16 名)

南三陸町歌津地区(田東山)～気仙沼市本吉地区(道の駅大谷海岸、小泉海岸、モーランド本吉)へのお出かけサロンとして開催しました。



○6月16日 第3回ふくしま仙台サロン・作戦会議

「花と杜のフェア見学～今年度の作戦会議」

(参加者 7 名)

4月から仙台市内で開催されていた「全国都市緑化仙台フェア」の会場内を散策した後、近くの会場で、サロンの「作戦会議」を行いました。

○7月26日 第4回ふくしま仙台サロン

「宮城県北 大崎市～登米市を巡る」

(参加者 15 名)

福島から宮城に避難されている皆さんは、宮城県の南部に多くお住まいです。宮城の県北エリアに訪れる機会が少ないという声を受け、登米市(長沼フットピア公園、道の駅みなみかた)・大崎市(おやつ工房ハルリッカ/寒梅酒造、旧有備館・有備館庭園、道の駅おさき)を訪れるサロンとして開催しました。



【発行者・連絡先】

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

〒984-0065 宮城県仙台市若林区土樋 254 ニューメゾン土樋 201

電話：022-353-7550

FAX：022-397-7230

info@tohokuconso.org

http://tohokuconso.org/

KEIRIN



「いこい通信」は競輪の補助を受けて発行しています。(公益財団法人 JKA 補助事業)